

令和5年4月12日

デジタル技術の活用及びDX 推進の取り組み状況

合同会社のべやま動物診療所

1. デジタル技術の重要性

デジタル技術の活用は、作業効率性を向上させるだけでなく、よりの確な診断・治療へと導く重要な要素だと考えています。具体的な内容につきましては以下に記述します。

A) 労働生産性の向上

当診療所では患者の情報を電子カルテで管理しているため、患畜の治療経過や状態を常にPCやタブレットで確認することができます。診療明細書や各種診断書等も電子カルテ上で作成できるため事務処理が効率化されます。またX線装置、超音波診断装置の画像データや血液検査結果を素早くカルテに取り込むことができるため診察時間も大幅に短縮されます。診療予約状況についてもクラウドで管理しているため、いつでも予約状況を確認することができます。デジタル技術を活用することで、所内の労働生産性を向上させます。

B) 診断精度の向上

当診療所ではこれまで高度医療診断機器を徐々に導入してまいりました。これらデジタル技術を伴う医療診断機器により、より正確な診断をすることが可能になります。さらに飼主の方へ視覚的にも説明がしやすくなり、病状を理解していただいた上で治療方針を決定できます。デジタル技術はより正確な診断およびインフォームドコンセントに有益なツールとなります。

2. 上記を踏まえた当診療所の経営ビジョン

「デジタル技術を十分に活用して、高度な医療を提供する動物病院へ」

当診療所は本事業を通じて歯科疾患に特化した医療機器を導入します。デジタル技術を用いた設備を導入することで、高度な医療を提供します。デジタル技術の活用することは当診療所内と患畜・飼主様にとって多くのメリットを持ちます。患者様が納得できる獣医療を提供することで患者満足度の向上につながります。その結果、患者数が増加すれば経営面で当診療所に寄与します。

3. 当診療所の経営ビジョンの実現のための戦略

- ・ 歯科疾患以外にも今後継続的にデジタル化の検討
- ・ デジタルリテラシーを強化する教育
- ・ 上記をより推進するための外部専門家との連携

4. 戦略推進のための組織体制

代表社員：市川力

役員：片桐勝則

役員：片桐憲和

他、獣医師2名 事務経理1名